

麻疹		<p>患者さんは非常に少ないです。当院では半分以下になっています。特に発熱やかぜ症状など感染症の患者さんは少ないです。病児保育室も、4月10日までの利用者は7人でした。昨年の半分です。休園・休校と外出自粛のおかげで人と人との接触が大きく減少して、13-14週の報告数は合計80例で2019年164例に比較して半減しています。</p> <p>ヒトという乗り物に乗っているウイルスも細菌、ヒトとヒトの接触がなくなると乗り移って増殖して行くことができません。総社市の休園・休校が5月6日まで延長されました。それまでは、小児の感染症が少ない状態が続くと期待されます。しかし、閉じこもりの生活で肥満やメンタルの面での不調や、不況による生活困難や虐待などの増加も心配です。今のところ、総社市内で新型コロナウイルス感染症の報告はありません。小児が発端者となる可能性はほとんど0に近いと思います。周囲の大人がウイルスを持ち込まないように、3密「密閉(みっぺい)」「密集(みっしゅう)」「密接(みっせつ)」を避ける。</p> <p>発熱・咳・倦怠感など体調不良の時は、他人に感染させないために症状がある間は自宅で休む。長引いて新型コロナウイルス感染症が心配な方は帰国者接触者相談センターに電話して下さい。</p> <p>新学期が始まりました。母子手帳をで予防接種歴を確認して下さい。年長さんはMRワクチンを4月中旬に接種しましょう。麻疹(はしか)はワクチンで防げる病気です。小児にとっては新型コロナウイルス感染症よりこわい病気です。</p> <p>(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 http://miyakenaika.com)</p> <p style="text-align: right;">三宅内科小児科医院 三宅真砂子</p>
風疹		
水痘(みずぼうそう)		
ムンプス(おたふくかぜ)		
百日咳		
溶連菌感染症	7	
手足口病		
ヘルパンギーナ		
伝染性紅斑		
感染性胃腸炎	16	
ロタウイルス(再掲)	1	
便アデノウイルス(再掲)		
突発性発疹	2	
伝染性膿痂疹(とびひ)	3	
ヘルペス性口内炎		
アデノウイルス感染症		
RSウイルス感染症		
マイコプラズマ感染症	1	
ヒトメタニューモウイルス	5	
インフルエンザ(臨床診断含む)	2	
インフルエンザA	0	
インフルエンザB	2	

世界の麻疹の状況(2019ファクトシート)

- 麻疹は安全かつ費用対効果の高いワクチンがあるにもかかわらず、小児での主な死因の1つです。
- 2017年には、世界で**110,000人**が麻疹で死亡し、その多くは5歳以下でした。(2016年は世界での麻疹による死者が89,780人で10万人を下回った初めての年になりました。)
- 麻疹ワクチンによって、2000年から2017年までに、世界での麻疹による死亡者は80%減少しました。
- 2017年には、世界の小児の**約85%**が1歳の誕生日までに定期予防接種として1回目の麻疹ワクチン接種を受けました。2000年での72%からの向上しました。
- 公衆衛生において、麻疹ワクチンは最も効果の高いものの1つであり、麻疹ワクチンの接種は、2000年から2017年までに、推定で**2,110万人**の死亡を防ぎました。